

人文書・歴史書ご担当者様

有志舎の新刊です。2015年9月下旬発売

# 帝国日本の「開発」と植民地台湾

(かなんたいしゅう) (じつげつたん)

-台湾の嘉南大圳と日月潭発電所-

清水美里 著

A5判・ハードカバー・320ページ

本体価格 6,600円

「開発」の視点から帝国日本と植民地台湾の関係を再考する！  
台湾現地社会とそこに生きた人びとの姿にまで迫り、真の意味での「植民地的開発とは何か」を論じる新世代の研究。

(目次)

序論

第一章 水利をめぐる権利の動揺

第二章 嘉南大圳への台湾農民の抵抗と交渉

第三章 嘉南大圳灌漑区域の葛藤

第四章 日月潭発電所工事の展開—始動と停滞そして再開—

第五章 在台日本人の日月潭工事再開運動と土木業者の示威行動

第六章 電化の対象の拡張—台湾電力株式会社の営業方針—

補論 八田與一物語の形成とその政治性—日台交流の現場からの視点—

終章

<著者紹介>清水美里(しみず みさと)：東京外国語大学非常勤講師、日本近現代史・台湾現代史専攻

～版元から～

本書は、植民地台湾の重要な開発事業であった嘉南大圳という広大な水利設備と日月潭発電所の事例に即して「植民地的開発」とは何かを論じていきます。帝国と植民地の二項対立の中で不可視化されてきた、台湾現地社会とそこに生きた人びとの営為を掘起こしながら、帝国と植民地を貫く重層的な権力構造や官／民に対置され得ない台湾人・在台日本人の関係などを立体的に浮かび上がらせます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行:有志舎	分野
		<b>帝国日本の「開発」と植民地台湾</b> 台湾の嘉南大圳(かなんたいしゅう)と日月潭(じつげつたん)発電所 <b>清水美里 著</b> A5判・ハードカバー、320ページ 本体価格 6,600円	日本史・台湾史 (近現代)
	冊 ご担当 様	新刊 ISBN978-4-903426-97-6 C3021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230